

令和6年度広島県中山間地域振興協議会（議事概要）

1 日 時

令和6年10月18日（金） 13：40～14：25

2 場 所

リーガロイヤルホテル広島 3階「宮島の間」

3 議 題

第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画（集落対策の推進）の策定について

4 知事あいさつ（要旨）

県においては、中山間地域の集落が今後直面することが見込まれる地域の変化に鑑み、令和2年度から集落実態調査を実施し、また、昨年度には、有識者による検討会議を設置し、今後の集落対策について、様々な検討をしてきたところ。

こうした調査や議論を踏まえ、この度、今後あらゆる主体が一体となって取り組む集落対策の取組を、第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画（集落対策の推進）として策定した。

現在、地区・集落の担い手の中心となっておられる、75～77歳の団塊の世代の方々が、支えられる側に向かっていく今後10年間は、集落対策を講じる大変重要な期間になると考えている。

地域の持続可能性を確保する上で残された時間は多くないことから、今年度から取組を始めている、地区・集落の話合いの支援や、移動手段、買い物などの生活サービスの確保対策など、引き続き、市町の皆様と、緊密に連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

5 主な意見等

- 中山間地域の小規模集落において、無住化やコミュニティが維持できない10世帯未満の集落が増えている。今年、県の新規事業の中間支援人材による伴走支援事業により地域に集落アドバイザー派遣を来年度以降も継続していただき、次期計画においても事業を拡充いただきたい。
- ご家族の関わりに期待し、集落のつながりの中で、地域に戻って来てもらう取組を進めており、こういった行動をさらに後押しできる環境づくりなどが重要と思っている。

- 私有財産の管理が問題になっている。国も考えられていると思うが、所有者の義務という部分をもう少し追求されるべきではないかと感じている。県からも国に働きかけをお願いしたい。

地域を離れた方には、ふるさと納税的なものが、もう少し私有財産の管理費として使われれば良いのではないかと思っている。

- 住民自治機能として地域を担っていく後継者がおらずコミュニティの自立自活がもう限界に来ている。地域に管理をお願いしている溝などの補修もできない状態になっている。

人と費用の両方の支援が必要であり、国にも対応策を考えてほしいと思っている。

- 公共インフラについて、B/Cを基準に考えると地方の道路は存続できないという話も出ている。コンパクトシティだけでは中山間は取り残されるため、引き続きご相談させていただきたい。

- 今回の計画が10年間の取組となっているが、5年間くらいで一度見直しをしていく方が有効的ではないか。

(以上)